

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

28号

大日化成株式会社

〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13

TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702

URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法

水分を逃がし防水層の
割れ・ふくれを防ぎます



BIGSUN
RX 工法



こんなところで活躍しています

福祉施設屋上 (VUS500)



「ビッグサン」は、こんなところで活躍しています。



いつものまにか日中は汗ばむような季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
今回は、「こんなところで活躍しています」
防水編という事でこれからの季節、ご家族で一度は訪れる事もあるプールでの採用実績をご紹介します。

当物件は、水泳競技振興・健康増進ハビリの中核施設をコンセプトの元整備された施設です。施設内には50mプール、25mプール、歩行用プール、他各種水槽でビッグサン防水材を採用して頂きました。各種水槽には露出防水のビッグサンGRG工法を、各プールにはビッグサンGR工法(タイル貼り仕上げ)で施工して頂きました。
ビッグサン防水材は、使用する材料がすべて水系の材料で構成されている事で密閉されたピットや室内でも安全に作業がおこなえる事、『ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案・同解説)』2-4下地の状態の項でポリマーセメント系塗膜防水材の特長として、「コンクリート下地が多少湿潤状態でも施工可能である」と記載されて

おり下地が湿潤状態でも施工できるという事も採用理由の一つとなっています。湿潤状態と言ってもどんな状況でも良い訳ではなくコンクリート下地に表面水(付着水・たまり水)および湧水、漏水が無い事が条件であるとされています。
当物件のプールは、タイル貼り仕上げとなっております。タイル下地のセメントモルタルと防水材の密着の良さも材料選定で考慮されたと聞いています。外部に露出したプールもあり、急な天候の変化で防水層の白華や様々な困難な状況もありましたが、建設会社様、防水施工業者様のご尽力により安全・確実な施工をして頂きました。



これからもお客様のご要望を反映すべく環境に優しい製品の開発に努めてまいります。今後とも弊社製品をよろしくご願ひ申し上げます。



と協会の顧問を御願ひしている、桐蔭横浜大学准教授の飯島健太郎先生の、「心の健康に役立つ緑地、そして建築の緑」と題して少子高齢化の現代の喫緊の問題に即した、御講演をして頂きました。
松永先生のお話は実際に病院内で要介護高齢患者30名にご協力いただき、病院の屋上緑地と対照的な屋外の緑のない病院内駐車場の2箇所での生理指標と心理指標を数値化した生理的効果としてリラックス指標である副交感神経活動の亢進や心理的効果としての「うつ」の緩和等を確認出来たというものであり、具体的に検証した結果の報告説明を頂きました。
飯島先生は都市生活者の半数以上がストレスを実感している現状等から、心の健康を基本に知覚対象としての緑のもたらす心理的効用を理論的に且つ非常に解りやすく説明頂きながら、最終的に医療・福祉的な対応の中での園芸作業の心理的効用を訪問介護員受講生を対象に行なった、園芸作業前後のPOMS診断(感情プロフィール検査)を使った結果として、緊張・不安・抑うつ・落ち込み・怒り・敵意・活力・疲労の項目数値の低下が確認された説明・発表をいただき非常に面白い興味のわくお話しでありました。
やはり、結果としても聴講参加者のアンケートを見ると約80%の方が「非常に良かった」とあるいは「良かった」とお褒めの言葉を

頂いております。
講演会中の質疑応答も具体的に積極的な質問が多く、時流に合った講演内容で現代社会の悩みにソフトの面から貢献する緑化技術の必要性を十分に御理解頂くことが出来たと考えております。
この我々協会の講演会の特徴は、回を追うごとにリピーターの方が増えているのもありがたい事と思えます。尚、詳しいアンケートデータは協会のホームページの中のトピックスでご確認下さい。
協会事務局を仰せつかっております大日化成としては両先生のお陰で大成した結果を持ちまして、各方面に働きかけて屋上のVUS工法やモク芝工法を広めたいと思えます。
今まで緑化商品を販売しながら、ふと「この緑化の仕事が厳しい価格競争をしながら納品して、結果として世の中の人々のお役に立っているのか、またどれだけの貢献が出来ているのか」と自信なく不安に感じていたことが、払拭されて自分自身の業務として間違いない誇れる仕事になったことを痛感しました。「何となく緑っていいなあ、気持ちがいいなあ」と感じていたことが、気持ちだけでなく実際に科学校だったんだと思うことができました。

屋上緑化講演会をおこなって

当社が事務局をさせて頂いており、薄層屋上緑化技術協会の活動の一環として、毎年、恒例となりました屋上緑化講演会を2月19日に新大阪のメルパルクOSAKAにて開催致しました。この講演会は年を追って盛況となり今回は参加者約130名と増えてきました。特に今回は大阪府の御公認を頂いての開催となり今後の各方面への働きかけの弾みになればと考えております。
今回は、医療法人徳松会医師 老人保健施設エルダリーガーデン施設長の松永先生による、「病院の屋上緑地が要介護高齢患者に及ぼす生理的リラックス効果」

スカイレジン<下地調整材>
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマー-E
EPC-T
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN
＜土木防水材＞
ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラビタルE-S
＜速乾型軽量プレミックスモルタル＞
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ヶ峰シリーズ
節電できる壁面緑化を実現！



テレビなどで大人気のエコグッズ



マイクロナノバブル&節水

いつもなげなく使用しているシャワー。最近ではシャワーを浴びるだけでいう方も多いようですが、洗いにもシャワーは必須。しかし、流すのシャワーでは、どうしても水道代や光熱費がかさんでしまいます。

そこで最近、注目のマイクロナノバブルシャワーヘッド。シャワーヘッドを取り外して、節水シャワーヘッドを取りつければ、水道代や光熱費が下がり、中熱は節約でき、元が取れる節水シャワーヘッドもありです。

今回で紹介するのは、その中でも特に人気の高いアリアミストボリーナ。最大約50%の節水率を誇り、家計の味方として人気を博しています。50%の節水

率とは一般的な家庭なら、年間およそ2万円節約になります。しかもマイクロナノバブルという非常に細かい泡が、節水だけでなく、洗浄、保湿、温浴にも作用しているのです。実際に大学の研究施設でマイクロナノバブルもささっているようです。気持ちいい肌あたりも魅力のひとつ。節水もできるし、水勢が落ちたら意味がないです。取りつければ、最大約50%の節水。家庭に頭を抱える主婦の方をはじめ、一人暮らしの心強いエコグッズです。

まずは自宅にお試し。そしてプレゼントにも最適です。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいております。スタッフの日常をお伝えいたします。

技術部 甲本 周平

技術部の甲本と申します。この会社に入社し、もう30年が近くなってきました。入社当時は全くのゼロからのスタートでしたが、今では技術部全体も見聞場となっていました。早いものに入社当時も製品にビッグサン防水材がありました。当時はどちらかというとサンシーラーという建築用シリル材が主流でした。それから次第にビッグサンサルファイブ系とがあり、この販売量が増え、次第にこのころから、業界も環境問題に対する意識が強まってきたのだと思います。その後、最終的に建築用シリル材の販売を中止したのですが、一度そのころ私には一つの転機がありました。

それは、当時大手エマルジョンメーカーを退職した方方が当社の技術顧問としてこられた事です。そして、その方々の下で仕事が出来たという事でした。その方は、技術的にも優れた方でしたが、人格的にも優れた方です。今でも尊敬している方です。当時、その技術顧問の言われたとおり、何でもやりました。それによって、エマルジョンの基礎とポリマーセメントやエマルジョン塗料の設計的なことを学びました。

あと、当時の技術部長からも施工技術等の指導を受けました。指導も厳しく辛かった記憶もありますが、その経験があるから現在があると思っております。

現在は、これまでに受けた貴重な知識やスキルを製品開発や改良に生かし、よりよい製品を



技術部 甲本 周平

業界に提供していくこと、それとこれからの若手技術員や営業員に技術を伝えるべく、これが小生の使命であると考えており、日々の指導に努力しています。

また、社内のみならず業界の発展にも積極的に取り組んでおり、ポリマーセメント系塗膜防水協議会や全国エポキシ工業協会委員として、関係する技能検定や規格の策定等にタッチし努力しています。2006年には、ポリマーセメント系塗膜防水施工指針案・同解説の策定委員として原案内容の作成に参加しました。ビッグサン防水材もこれによって一定の性能を有する本防水としての地位を固め、また認識を高めました。

最近、日本水道協会（JWWA）43の改定作業に参加しており改定原案内容の一部を作成中です。この規格は飲料水用途のエポキシ樹脂の規格であり、材料の衛生性と物性の規定がメインの規格です。市場において、品質が良く安全である製品が安心で使用されるよう取り組んでいます。

今後も、会社と業界の発展に更に頑張っていきたいと考えています。



次号も
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

映画で学ぶ 環境問題



『ゼロ・グラビティ』
(原題: Gravity)

監督: アルフォンソ・キュアロン
脚本: アルフォンソ・キュアロン
ホナス・キュアロン
製作総指揮: スティーヴン・ジョーンズ
出演者: サンドラ・ブロック
ジョージ・クルーニー
配給: ワーナー・ブラザーズ
公開: 2013年

今回は昨年度公開、アカデミー賞も多数獲得し大変な人気を博した『ゼロ・グラビティ』を題材に、地球ではなく宇宙の環境問題を取り上げます。

初めての宇宙飛行として、女性博士ライアン(サンドラ・ブロック)がマッド(ジョージ・クルーニー)や他のクルーとともに船外活動をおこなっている最中に、スペースシャトルが大破するという想定外の事故が発生します。

原因は、ロシアの衛星破壊

による宇宙ゴミ(スペース・デブリ)の襲来。

突然思いも寄らぬ膨大な宇宙ゴミが大挙して飛来した為にクルーが即死しただけでなく、シャトルの大破とともに、ライアンとマッドは1本のロープでつながれたまま、宇宙に放り出されてしまいました。

宇宙空間は、まさに無重力状態(ゼロ・グラビティ)でコントロールがきかず、漂流状態になったライアンは、パニックになるばかり。一方、

国内でも、原発のゴミ問題が東京都知事選の争点にされるなど、新たな社会問題になっていいますが、実際に宇宙のゴミ問題も相当深刻なようです。

JAXA(日本宇宙航空研究開発機構)では、スペース・デブリの危険性(地球への落下頻度)が急速に増大していることを懸念し、情報発信をおこなっていますが、それによる宇宙ゴミは平均で週に1.5~2回の頻度で「大気圏に再突入」しているそうで、これまでは人や建物に大きな被害を与えたことがないだけで、決してあなどれない

「作った方がいいが、捨てるゴミのことも考えよう。」これが、この映画が訴えたかったことでしょうか? そういった辺りも考えながら、ぜひご家族でご覧頂きたい一押し作品です。

この映画、映画館公開時には3Dの上映が話題となりました。3D映画自体はもはや珍しくないものの、これまでの3Dは「飛び出す」概念でしたが、本作では「奥行き」や「深さ」を見事に表現したのです。筆者も実際に映画館で体感しましたが、無限大に広がる宇宙に「本当に落ちていくのではないか」と想えるほどでしたので、できれば3D映像をご覧ください。

テランのマットは的確な指示を出し、無事の帰還をめざすもののトラブルが続発。わずかな酸素と時間に追われ、果たして二人は無事に生還できるのでしょうか?

次々発生する危機的トラブルは、ハラハラドキドキの連続です。

さて、本作でトラブルのきっかけに使われたのは「宇宙ゴミ(スペース・デブリ)」。「ゴミ問題は地球上だけでなく宇宙でも大変な問題になっていて、宇宙は無限空間だからといって、無責任に捨て続けられれば、結局ゴミというの人類に襲いかかってくることを思い知らされます。

ちなみに、人工衛星を所有する大半の国によって締結されている「宇宙損害責任条約」という国際条約があり、万が一の場合は、衛星を打ち上げた国から賠償を受けられるようになっていて、日本の人工衛星やロケットのスペース・デブリによって被害が生じた場合は、日本の国が損害賠償補償をすることになっています。